

A.....23

龍谷大学
(大宮学舎)
イチョウ



猪熊通七条上ル 大工町

高さ 25.5m 枝張 14.0m 幹周 3.95m
いちよう科 / 落葉高木

明治初期の大学開校の時に、すでに大木として存在していました。

A.....24

龍谷大学
(大宮学舎)
クスノキ



猪熊通七条上ル 大工町

高さ 14.0m 枝張 17.3m
幹周 2.35m
くすのき科 / 常緑高木

龍谷大学の大宮校舎は、明治12年(1879年)に竣工しました。クスノキはその頃に植えられたものと思われていますが、それでも1世紀にわたって、多くの学生を見送ったこととなります。

現在は広い中庭にあって、南北一対の大きな緑陰をつくり出しています。白い建物とも調和しています。

A.....25

興正寺
クスノキ



堀川通七条上ル 花園町

高さ 19.5m 枝張 19.2m 幹周 3.4m
くすのき科 / 常緑高木

境内の北側にあり、均整がとれていて、どこから見ても美しい大木です。

A.....26

興正寺
エノキ



堀川通七条上ル 花園町

高さ 15.5m 枝張 17.2m 幹周 2.74m
にれ科 / 落葉高木

境内に育っていますが、遠方からもよく目立ち、寺の建物とも調和しています。

イチョウ

いちよう科

中国原産の落葉樹。秋の黄葉が美しく、日本では古くから社寺の境内などに植えられ、親しまれてきました。生育は旺盛で、病害虫も少なく、暑さや乾燥などにもよく耐え、寿命も長いので、街路樹として最も多く使われています。

樹形が円錐形に

整い、まちなみに統一美をもたらすので、ピスタ(見通しの景観)を強調する道路に使われています。

